

## 第 22 回教育課程編成委員会 議事録

開催時：令和 6 年 3 月 27 日（水） 13：30～14：30

場所：下関福祉専門学校 3 F

出席者：河田 勝志（一般社団法人 山口県介護福祉士会 理事：下関ブロック長富田陽治様代理）  
竹永 裕子（社会福祉法人 菊水会 福祉相談室長）  
関谷 豊（下関福祉専門学校 校長）  
田中 満由美（下関福祉専門学校 教務部長）  
藤岡 恵子（下関福祉専門学校 教務主任）  
長本 幸子（下関福祉専門学校 専任教員）  
安田 富美代（下関福祉専門学校 専任教員）  
木村 薫（下関学院 事務局）（敬称略）

議事 1 今年度の教育目標評価及び課題

- 2 今年度の「福祉と文化」特別授業について
- 3 各委員からの意見要望
- 4 その他

議事 1 今年度の教育目標評価及び課題

それぞれの教育目標評価及び課題を各学年担任が報告する。

【1】 介護福祉士として、利用者の尊厳を理解し、尊厳の保持の実践ができる。

1 年の個別目標：尊厳とは何かを理解することができる。

1 学年評価

授業で「尊厳」について学んだことを、7月の見学実習、11月の施設実習において、実際の現場で自分の目で観て感じることができた。実習日誌や振り返りシート等で利用者の尊厳を職員が守っていることを知ることができたと、記入していた。また、クラス内でお互いが尊重しあい対応することができている。

2 年の個別目標：利用者一人ひとりを理解し、介護過程の展開を通して全人的なケアが実践できる。

2 学年評価

学習意欲が乏しいが、指導を受けることで介護過程の展開を行うことができた。また、全人的な介護については自分が何をすべきかがわからず、指示待ちの学生が多かった。施設や教員の指導を理解できない学生もあり、今後の指導についても検討をしていかなければならない。

【2】 介護実践に必要なコミュニケーション技術を養うことができる。

1年の個別目標：人間関係を築くためのコミュニケーションが理解できる。

#### 1 学年評価

人間関係を構築するにはコミュニケーションであると、実習で実感できた。1段階評価のコミュニケーション能力において、A評価及びB評価を得た学生が多くいた。

2年の個別目標：コミュニケーションを通じて、利用者個々の望む生活を引き出すことができる。

#### 2 学年評価

コミュニケーションの大切さは2年間の実習で理解できた。しかし、利用者の望む生活をコミュニケーションの中から引き出すためには、学生の資質によるところが多く、指示待ちや他人任せでの結果となる学生がいたが、1年次に比べると少しできるようになったと言える。

【3】 根拠に基づいた介護実践を行うための知識、技術を学習し実践することができる。

1年の個別目標：介護に必要な知識を学び、個々に応じた介護技術の提供に必要な根拠が理解できる。

#### 1 学年評価

基本的な根拠は授業や実習で理解できている。しかし実際に様々な利用者と接していないため利用者個々に対しての介護技術の根拠は理解できていない。今後関わりが増えることにより個々の根拠を理解することができると思われる。

2年の個別目標：個別ケア及び自立支援に基づいた、安全安楽な介護実践ができる。

#### 2 学年評価

介護の専門的知識が理解できず、自分で考えて行動することが難しい。介護の基本である安全安楽な介護を実践するにはより多くの経験が必要と思われる

### 委員からの意見及び質疑

委員：介護過程や全人的介護に関しては実際の現場でも難しい。しかし、目標として「こういうことをしなければならぬ」と掲げることがとても大切だと考える。

委員：友人同士でのコミュニケーション能力とは違う、介護職としてのコミュニケーション能力を身に着けることが必要であるが、学校での指導や授業はどのようにしているのか

〔A〕：授業では、山口大学大学院の心理学の教授からコミュニケーションについての講義があり、実践的な学びは、利用者と直接関わりが持てる実習がそれにあたると考える。コロナ禍による地域との交流が少なくなっているため、実習以外で他者とのコミュニケーションを通じて学ぶことが少なくなっているためこれが今後の課題である。

委員：指示待ちについては、中途採用の職員にも当てはまる。人より抜きんでることを嫌い積極性に乏しい人が多くなった。

## 議事2 今年度の「福祉と文化」特別授業について

### ・今年度開催授業

授業名	コマ数	授業名	コマ数
ヘアメイク	1	口腔ケア	2
着付け	2	昭和史	1
昭和の歌	1	介護予防	2
職業倫理	1	園芸療法	1
普通救命講習	2	専門性の展開	1
卒業生との交流	2	合計	16

### ・委員からの意見・質疑

委員：特に人気のあった授業は何か

[A] 口腔ケアは、とても人気があった。入れ歯を見たのが初めてという学生もあり、介護現場で働く学生にはとてもためになる授業であったと思われる。

委員：今後に向けて学生と介護職員とのグループワークをするというのはどうだろうか。

[A] 1年に1回でも、介護福祉士会で日曜日などセミナーを開催していただき、学生と若い介護福祉士とのグループワークができれば相互の為になると思われる。

次回の委員会で再度提案し、後期の授業で検討していきたい。実際の現場の声を学生が聞ける良い機会になると思われる。

委員：現場からみれば、昭和の歌は良いので授業として引き続き行っていただきたい。

委員：働き始めてすぐに精神的に病む若い職員が多い。若い職員に対して指導をしにくいという感覚はある。相手が圧を感じないような教育をしていくのが難しく感じている。そのあたりはどうだろうか。

[A] ストレスマネジメントは、以前特別授業で取り入れたことがある。あらためて考えていきたい。

### 次回委員会開催日の日程について

令和6年8月開催予定